

肺が汚れてしまう タールは肺を黒くするだけでなく、がんのもとをたくさん含んでいます。1日20本のたばこを1年間吸い続けるとコップ1杯分のタールが出ます。

65歳、たばこを吸わない女性。夫も吸わない



70歳、1日10本50年間たばこを吸い続けた男性



70歳、1日60本55年間たばこを吸い続けた男性



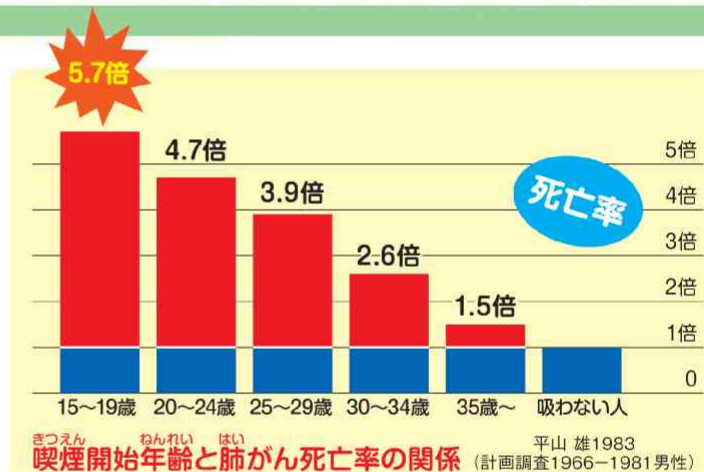
▲ノバルティスファーマ(株)提供(写真: 吳羽内科医院、水上陽真氏)

若い年齢が一番危険

たばこを吸い始める年齢が早いほど肺がんの死亡率が高くなります。

「たばこを吸い始めた年齢が15～19歳の人」では、5.7倍も高くなっています。

吸い始める年齢が早いほど、『ニコチン依存』になりやすく、たばこをやめられなくなるといわれています。



参考: 「たばこ」がいない、これだけの理由。がん研究振興財団

吸わない人も大迷惑

危険がいっぱい! たばこの煙

他人の吸っているたばこの煙を吸うこと(受動喫煙)によって、1年間で6,800人が亡くなっているといわれています。

たばこを吸う本人が直接吸い込む煙(主流煙)よりも、火のついたたばこの先から出ている煙(副流煙)のほうが、害になる物質が多く含まれています。



静岡県健康福祉部

静岡県立 静岡がんセンター

(協力)

静岡県医師会

静岡県教育委員会

静岡県学校保健会

静岡県対がん協会